

穴埋め問題（解答）

第3章 畜産農業

1. 家畜による事故

家畜の飼養管理作業は、たいへん危険な労働であり、毎年、（ 家畜 ）による死亡事故が発生しています。特に、（ 北海道 ）では、負傷事故は（ 農業機械 ）を原因とするものよりも家畜を原因とするものが多いという結果が毎年出されています。その8割以上が（ 牛 ）によるもの、次いで馬、（ 豚 ）によるものとなっています。

= 【P41】 =

2. 家畜による事故

「1件の重大事故の裏には、（ 29 ）件の軽微な事故と300件の（ ケガに至らない ）事故がある」といわれています（（ ハインリッヒ ）の法則）。この300件の「（ヒヤリ・ハット）」の原因となるミスや小さな異常をなくしていくことが重要です。

= 【P41】 =

3. 農業機械のエンジン・燃料

・農業機械の動力源はエンジンや（ モーター ）です。エンジンには引火性のある燃料が使われます。クランク軸の（ 回転力 ）が機械や作業機の駆動に利用されます。運転中、エンジンは（ 高温 ）となり、有害な排気ガスがでますので、注意が必要です。

・主として大型の農業機械には、（ 軽油 ）を燃料とするディーゼルエンジンが、その他の農業機械には、（ ガソリン ）を燃料とするガソリンエンジンが使われます。燃料を給油する際には、間違わないようにしましょう。「軽トラックの燃料は（ ガソリン ）です。（ 軽油 ）を入れないでください！」

= 【P44】 =

4. 刈払機の安全な作業のための基本的な知識

・草が詰まるからという理由で、（ 飛散物防護カバー ）を取りはずしたり、位置をずらすのはやめましょう。草が詰まった場合は、確実に（ エンジン ）を停止させてから除去してください。

・飛散物が飛んできたり、（ 回転刃 ）が向けられることがあるので、作業者には近づいてはいけません。作業者に用事がある場合は、（ ホイッスル ）を鳴らしたり、鏡で照らしたりして気づかせます。また、複数で作業する場合は、（ 15 m ）以上の間隔をあけることです。

・刈払機は、（ 夏 ）の暑い時期に使用することが多いため、（ 連続 ）使用は熱中症を起こす恐れがあります。休憩を頻繁にとり、（ 水分 ）の補給を心がけましょう。

= 【P46】 =